

セチュラの風だより

2019年9月 第六号



出張課外授業 Amazon で環境教育！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

朝夕は随分凌ぎやすくなってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？今回は、7月28日ペルー独立記念日の休暇を利用し、ペルー・イキトス州で環境教育を行った事について紹介したいと思います。

イキトス・アマゾンで出張授業！

今回は先輩隊員が働くイキトス州アマゾンにある保護区で合同授業を行いました。セチュラのごみ問題、“もったいない”の精神、日本の挨拶を専門学生達に教える事ができ、良い経験になりました。

また、学習の一環で、船で8時間かけ3泊4日のアマゾンツアーにも参加しました。タランチュラ、アナコンダ、ピラニア、ピンクドルフィン等の固有種や満天の星空を見学できました。中でも、宿泊先の蛇口をひねるとアマゾンの川の茶色い水が出る事に驚き、「生活用水はそのままアマゾンへ流れる」とガイドから聞き、日常生活の中でも節水や石鹸の必要最低限の量の使用を意識しようと思いました。



ペルー・イキトス州ってどんな街？

今回は、出張先ペルー・イキトス州について紹介します。イキトス州は、首都のリマから飛行機で2時間ペルー北東部のセルバ(山沿い)に位置し、43万人が住む都市です。アマゾン川が有名で、「陸路では行けない世界最大の町」といわれており船か飛行機でしか町に入ることはできません。食べ物は、ワニ、ピラルク、ピラニア等川の魚を主に食べ、特にワニ肉がオススメです。現在 JICA の協力隊員が4名活動しています。

